

取組名	汎用機における稼働率の見える化		
企業名	渡辺精密工業株式会社（名古屋市港区）		
業種	精密測定器製造業	従業員数	44名

使用デジタルツール
iXacs 〔i Smart Technologies(株)〕

課題・背景

現在、汎用機の可動時間は加工者の自己申告に委ねられている。

そのため、加工者自身で変更出来るという“甘え”が生まれ、可動時間や生産性の向上意識が芽生えにくい状況となっている。

汎用機の可動率見える化により、加工者のコストに対する意識付けとなることを期待する。

取組内容

iXacsを使用し、卓上平面研磨機の可動率見える化と向上を目指した。

取得データの結果より、現状の可動率28%ということが判明。目標可動率を3.5%UPの31.5%と設定。時間としては”1,008秒/日”削減を目指した。

手元工具の整理や共用工具置き場の配置変更を改善活動として実施。

動画撮影手法、データの纏め方等についてアドバイスを受けながら改善のPDCAを回した。



結果・効果

【目に見える成果】

目標削減時間1,008秒/日に対し、実績272秒/日の削減
→目標に対し約27%達成

【得たこと・感じたこと】

- 改善手段としての動画撮影手法及びその有効性
- 計画,目標を立てる為の定量化の重要性



- | | | |
|----------------------|---|------------------|
| 1. 同じ作業でも人によりバラツキがある | → | 作業の最適化・標準化が必要 |
| 2. 工程外作業が把握できていない | → | 人と機械を連動させた可動率の把握 |
| 3. 説得力のある計画・目標の設定力不足 | → | 一人ひとりの定量化の意識付け |